

Just Composed 2019 in Yokohama～現代作曲家シリーズ～
サクソフォンの多様性

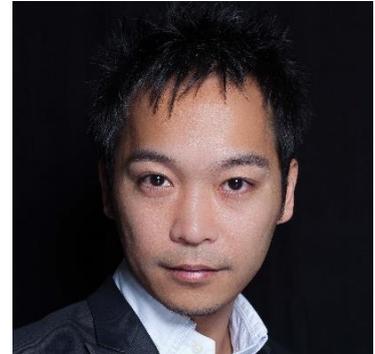
【横浜芸術アクション事業】 ソプラノとアルトサクソフォンと共に時空を駆け巡る！



上野耕平（サクソフォン）



山中惇史（ピアノ）



酒井健治（作曲家）

■横浜から新曲が毎年誕生。“いま”の音楽を次世代へつなぐ

■サクソフォンを縦横無尽に操る上野耕平が登場。山中惇史とのコンビで煌びやかに楽曲を描き出す

■俊英・酒井健治の新作と上野耕平との出会いの化学変化を楽しむ

1999年からスタートし、今回で20回目を迎える「Just Composed in Yokohama 現代作曲家シリーズ」。気鋭の作曲家への委嘱新作を毎回発表（世界初演）するとともに、これまで披露されてきた過去の委嘱作品の再演も行うなど、“いま”の音楽を生み出し、次世代へと紡ぐコンサート。今年も横浜から新曲が誕生します。

当シリーズの作曲家の選定と公演の企画を行う選定委員は、音楽学者の白石美雪と当ホール館長池辺晋一郎です。今回のみの選定委員として、今注目の若手サクソフォン奏者・上野耕平が参画し、演奏も担います。先ごろ11月25日に開催された「わくわくプラス！ in みなとみらい」では、新進気鋭の吹奏楽団＝ぱんだウインドオーケストラのコンサートマスターを務め、一緒にステージに乗った公募市民の皆さんを引っ張り、聴く者をとらえて離さないその演奏とリードは記憶に新しいところ。ソロやサクソカルテットでの演奏も多く、メディアでも引っ張りだこ。サクソフォンを自在に奏で、その艶やかな音色に驚かされるとともに、彼の登場は「何かある！」と期待が膨らむ存在。その上野耕平が、信頼を寄せるピアニスト山中惇史とともに、楽曲を鮮やかに・煌びやかに描き出します。

そして、俊英・酒井健治による、期待の新曲が披露されます。酒井健治は京都市立芸術大学で学んだ後、渡仏。フランス国立パリ高等音楽院作曲科、ジュネーヴ音楽院作曲科を最優秀の成績で卒業後、武満徹作曲賞第一位、エリザベート王妃国際音楽コンクール大賞、2015年にはローマ賞に選ばれるという快挙を次々に成し遂げている逸材。上野耕平との出会いの化学変化は聴き逃しません。

過去の本シリーズの委嘱作品、サクソフォンのために書かれた名曲などとあわせ、現代作曲家に焦点をあてた同時代の音楽を聴く貴重な機会です。「Just Composed 2019」を楽しむための事前レクチャーも開催します。

【事業概要】

公演名：Just Composed 2019 in Yokohama ～現代作曲家シリーズ～

サクソフォンの多様性 ソプラノとアルトサクソフォンと共に時空を駆け巡る

日時：2019年3月23日（土）15：00開演（14：30開場）

会場：横浜みなとみらいホール 小ホール

出演：上野耕平（サクソフォン）、山中惇史（ピアノ）、酒井健治（作曲家）

曲目：R.エテザディ：ストリートリーガル、R.シューマン：3つのロマンス

佐藤允彦：「遊行」より（Just Composed 2000 委嘱作品 再演）

逢坂裕：ソプラノサクソフォンとピアノのためのソナタ エクスタシス

酒井健治：新作（Just Composed 2019 委嘱作品）

E.デニソフ：アルトサクソフォンとピアノのためのソナタ

吉松隆：ファジィバード・ソナタ

料金：全席指定 3,000円 学生 1,500円 65歳以上・障がい者手帳をお持ちの方 2,800円

主催：横浜みなとみらいホール（公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団）

共催：横浜アーツフェスティバル実行委員会

問合せ：横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000

裏面あり

関連レクチャー
「白石美雪による Just Composed 2019 の楽しみ方」

日時:2019 年3月8日(金)19:00～(18:30 開場)

会場:横浜みなとみらいホール 小ホール

出演:上野耕平、白石美雪(武蔵野美術大学教授、音楽学者)

●事前申し込み制:横浜みなとみらいホールチケットセンター tel045-682-2000

入場無料
(レクチャーのみの
参加も歓迎!)
要申込み

◇ご取材・ご掲載・ご来場いただける場合には、下記へご連絡をお願いいたします。

このプレスリリースに関するお問合せ:横浜みなとみらいホール Tel: 045-682-2020 / Fax: 045-682-2023
総支配人補佐:小椋錬太郎 広報担当:鈴木慶子 事業担当:松江史乃、新野見佳奈